

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.36

日時	2013年9月29日
行脚先	円応寺
住所	大分県中津市寺町（豊前国）
行事名	

## 特徴

智恩院末浄土宗鎮西派、鏡知山と号し、阿弥陀如来を本尊としています。  
天正15年(1587年)黒田官兵衛の開基で天蓮社真誉見道の開山です。  
黒田氏が福岡に転封した後も、細川氏、小笠原氏など歴代の藩主に大切にされたそうです。  
天蓮社真誉見道は播州赤穂の人であり、武門赤松氏の流れで播磨国出身の黒田家とは同郷、如水の参謀の一人であったと伝えられています。  
また如水の実父(黒田職隆)を祀る心光寺においては二世住持を務め、播磨黒田家菩提寺とも深い縁のある僧侶です。  
1586年(天正15年)黒田如水が播磨国から豊前国 中津に転封するとき、黒田家一族とともに中津に移住し、その後黒田家菩提寺・中津円応寺を開山しました。  
他にも唐津教安寺・小倉円応寺を開山し、福岡圓應寺の開山として小倉から招請されています。

## 黒田官兵衛との関わり

黒田官兵衛により開基された菩提寺です。  
「江戸時代中期、寂玄上人が河童共を問答の末に仏門に入らせ修行の末、河童の頭目三匹に戒名を授けました。河童達は上人への恩返しに寺を火災から守った。」という河童にまつわる逸話が残されています。  
境内には河童の墓、河童の池と伝わるものが残っており、今でも寺の法要の際には必ず河童の頭目の回向を行っています。  
また、当寺が授けた戒名は現存し、その頭目たちの戒名を彫った火難水難避けの版木も残されています。  
境内の河童の墓は、黒田二十四騎の一人「野村太郎兵衛」の墓とも言われています。

## 記録

